

いきいき弟子講座 育成コース（全9課）

第1課 一時間の必要



クリスチャンはだれでもキリストのために世に強い影響を与えたいと思い、またその素質を持っているものです。弟子としての基本を忍耐強くやり通しているならば、なおさらそうです。聖書研究・祈り・時間管理・個人的証し、どれも伝道する準備として大切です。しかし準備だけでは充分ではありません。私たちは任務に就かなければなりません。伝道に乗り出さなければなりません。時間が大いに必要なのです。

この学びは、21世紀に有効な伝道のすぐれた鍵を与えるプログラムです。新約時代の教会は、ただ一世代で「世界中を騒がせる」伝道のモデルを残しました（使徒言行録17：6）。今日このモデルを手段にすると、同じような結果を生むことができるはずですが、もしあなたが人々を十字架に導きたければ、これから数週間ベストを尽くしてください。あなたの生活はもう決して同じではないでしょう。



目 標

氏 名： _____ 日 付： _____

- [] 最初の聖書探究はエフェソ3：7-21です。神の導きを祈り、聖句を注意深く読み、そして今週のガイドをできるだけ完全に記入してください。引用句の御言葉は、あなたに対する神のみ声と確信できますか？ あなたの発見を次の集会で発表できるように準備してください。
- [] 後半にある「伝道の緊急性」について具体的助言を読んでください。次の集会で話し合う準備をしてください。
- [] 今週の暗唱聖句はエフェソ3：20-21です。二つ目の聖句は自分で選んでください。両方カードに書いて毎日覚えてください。
- [] チームメンバー各自が神の召命を深く感じるができるように、今週祈りのために余分の時間をとってください。召命に応じ、主の至上命令に全的に参加できるように祈ってください。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

神によって実現される人生を追い求めなさい

署 名： _____





聖書探究 1

暗唱聖句

「わたしたちの内に働く御力によって、わたしたちが求めたり、思ったりすることすべてを、はるかに超えてかなえることのおできになる方に、教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々限りなくありますように、アーメン」エフェソ3：20、21 (新共同訳)

「どうか、わたしたちのうちに働く力によって、わたしたちが求めまた思うところのいっさいを、はるかに超えてかなえて下さるかたに、教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々限りなくあるように、アーメン」エペソ3：20、21 (口語訳)

トピック：エフェソ3：7-21

要約： _____

観察・洞察： _____

原則・適用： _____
1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

要点： _____

伝道の緊急性

具体的助言

イエスは昇天前に、弟子たちに命令されました：「行って、すべての民をわたしの弟子にしてください」（マタイ28：19-20）。この働きには二つの部分がありました。

- まず、伝道一人々をキリストに導き、「父と子と聖霊の名によって」バプテスマを決意させること。
- 二番目に訓練—イエスが命じておられたことを新しい信者に「すべて守るように」教えること。

伝道と訓練とが一緒になされると、弟子の数は増えてきます。働き人も増加します。そして福音が爆発的に伝えられるでしょう。両方が至上命令の重要部分なのです。

訓練+伝道

訓練と伝道とは密接につながっています。聖句を覚え、聖書を学び、祈りに熟練し、時間を管理するなど人を教えるのは大切ですが、伝道の基本的な技術がなければ、私たちの訓練は不完全です。弟子は働き人にならなければなりません。働き人は実際に信仰を分かち与えます。もし私たちがキリストの命じた「すべて」を守るように教えることに本気であるならば、私たちの訓練には次の聖句の内容を包まなければなりません。

- ・マルコ16：15
- ・ルカ24：47
- ・使徒言行録1：8

救い主は、福音を全世界に携えてゆけと命令されました。この挑戦を達成するためには、どのように出て行き、魂を勝ち取るかを教会員たちに教えなければなりません。

問題

問題は、多くの人が「伝道」を恐れていることです。戸毎訪問をし、聖書研究を受け、見知らぬ人々に説教することを恐れています。そして私たちの用いている方法は、あまり功を奏していません。

たとえば伝道講演会は、一般的に費用がかかり、毎晩出かける教会員も疲れきってしまいます。そのような伝道はクリスチャンライフスタイルを伝えるというよりも、「傍観者精神」や「年中行事という考え」を助長しがちです。講演会で促された決心に応答した人々は、教会員になったとき個人的な友人関係がうすく、特に、きちんとした配慮や訓練がなされないと、すぐに教会から離れていく傾向があります。

聖書研究を受けるメンバーの募集もまた、チャレンジに満ちています。参加する教会員を募ることが困難であると同時に、熱意を維持するのは更に難しくなります。しばしば訓練は表面的で、その結果、参加者の技術も真の霊性も、聖書の知識も貧弱です。さらには、賜物や能力を持ち、他の方法によってはもっとよく証できたであろう人々も、失望して去ってしまいます。

どのクリスチャンもキリストを受け入れる人々を見たいと願いながら、上記の困難に少なからぬ恐れをもち、多くの人が実りある奉仕から身を引いています。

解決法

もちろん解決法があります。それはただ、聖書に描かれた伝道の基本にもどることです。これから数週間、この講座をとおしてその方法を学びます。あなたもチームメンバーも着実に救霊の奉仕を始める計画を発見できるでしょう。

この原則を次回から紹介しますが、概観を述べておきますと、第1に、新約聖書全体に述べられていながら、はなはだしく見落とされている方法です。第2に、だれでも、たとえ臆病な人や経験のない人でも参加できる方法です。第3に、良い結果を生む方法です。

この方法はまた、前述の問題を解決します。費用もかからず、疲れることもありません。傍観者をつくらず、年中行事的でもありません。求道者と教会員の関係を密にして、助け合いのシステムとなり、クリスチャンになる人の支援をします。教会員の参加が比較的容易で、より簡単に継続できます。各自が自分の力、知識、経験にあったレベルで参加することができ、成長に伴ってその領域が広がります。さらに各自は自分の賜物や能力に最も適した活動に参加することができます。一つの方法でこのすべてをできるとは信じにくいですか？ ぜひ続けて学んでください。これからの数週間、この育成コースでは、五旬節以来の伝道で、これまでと根本的にちがった方法を発掘していきます。

あなたから始まります！

このアプローチを紹介する前に、一つ非常に重要なことがあります。それは、伝道はあなたから始まらなければならないということです。私たちは隣の人や次の列の人を見ることはできません。自分自身の心を探らなければなりません。私はキリストが召された働き人にほんとうになるつもりだろうか？ 自分の時間と労力をキリストのために捧げる約束の心構えができていだろうか？

事実、キリストのために応募できる最初の人、あなた自身です。キリストの個人的な呼びかけに、ぜひ応答しましょう。イエスはまもなく来られます、そして大なる働きは私たちの前に横たわったままです。み業完結のため、教会は教会員を動員し整えなければなりません。

討論テーマ：

あなたの教会の伝道はこれまで有効でしたか。なぜですか。より効果ある鍵を新約聖書から探してみませんか。奉仕は常に時間と労力が必要です。神さまに投資するお気持はありますか？

イラストレーション1

MAP

第2課 ー成功する戦術ー



今週は、新約時代の教会の爆発的な進展、特に初期の成功の秘訣を見ていきます。この秘訣は、これから学びますが、今日ではほとんど用いられない、注目すべきモデルを暗示しています。それは今日でも、もう1度取り入れることのできるモデルです。祈りをもって学んでください。

伝道は、チームワークが要求されます。また良いチームの鍵は献身です。中途半端な人が1人いると、チーム全体の士気に否定的な影響を及ぼします。反対に、目標めざして一緒に努力するチームは、神さまの祝福を経験し、神さまの導きを受けた魂を見ることでしょうか。イエスは、失われ死んでいく世界に救いのメッセージをもって出て行く働き人を探しておられます。もしあなたがチームの人々と団結していくお気持ちなら、この働きを終らせることができるのです。



目 標

氏 名 : _____ 日 付 : _____

- [] 列王記下7：3－9について聖書探究をしてください。これは4人のハンセン病患者の話です。彼らの行動と動機を考えてください。今日の私たちに対するメッセージは何でしょうか？
- [] 「ケアグループの紹介」を読み、次の集会で話し合う準備をしてください。このモデルの長所は何だと思いますか？ 先週討論した、いくつかの問題点が適用されますか？ 今日このモデルをもっと使用したら、何が起こると思いますか？
- [] 今週の暗唱聖句はマルコ3：14です。二つ目は自分で選んでください。次回までに先週のものも含めて完全に覚えてきてください。
- [] 先回のイラストレーション<MAP>を復習してください。示されている道に沿って前進していますか。最終段階に入る用意はできていますか？

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

チームワークは平凡な人々をして非凡な結果を遂げさせる



署 名 : _____

聖書探究 2



暗唱聖句

「そこで、12 人を任命し、使徒と名付けられた。彼らを自分のそばに置くため、また、派遣して宣教させ」マルコ 3 : 14 (新共同訳)

「そこで 12 人をお立てになった。彼らを自分のそばに置くためであり、さらに宣教につかわし、」マルコ 3 : 14 (口語訳)

トピック : 列王記下 7 : 3 - 9

要約 : _____

観察・洞察 : _____

原則・適用 : _____
1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

要点 : _____

ケアグループの紹介

具体的助言

イエスがご自分の新しい教会の働き人を訓練しようとされた時、12人を任命し、小グループを作られました。なぜでしょうか。一つの理由は、十字架の後、主が取り去られた時これらの人たちが、互いに支え合い励まし合うことができるためでした。1人きりでいたなら、おそらく敵に立ち向かえなかったはずですが、しかし一緒にいたゆえに、キリストをとおして、彼らは無敵でした！

ペンテコステの日、初代教会が船出して3,000人が加わった時、12人は洪水のような新しい信者をどう訓練するかという同様の課題に直面したのでした。直ちに彼らは人々をグループに分け、「家々で」集まるようにしました（使徒言行録2：46、5：42）。これらの家の集まりは「喜びと真心をもって一緒に」交わり、それを見た人々は好意を寄せ、主は「救われる人々を日々仲間に加える」ことがおできになりました（使徒言行録2：46-47）。その結果は爆発的な成長でした。新しい信者はやがて「ユダヤとサマリヤの地方に散って行って」「福音を告げ知らせながら巡り歩いた」のでした（使徒言行録8：1、4）。

同様に、パウロが伝道を開始した時、やはり働き人のチームを作りました。使徒言行録13：1は、4人のチームと記しています。使徒言行録20：4は7人のチーム、ローマ16：21-23は8人のチーム。パウロの最後の言葉は他のもう一つのチームのことに言及しています（テモテ2・4：21-22）。さらに、彼が興した教会は小さな家の交わりに組織されました。エフェソの長老たちに話す中で、パウロはどのように家から家へと教えたかを思い出させました（使徒言行録20：20）。他の場所でも、ナルキソ、ステファノ、アキラとプリスキラ、ヤソン、フィレモン、オネシフォラ、ガイオ、ルディア、ヤストとクリスポ、フィリポ、その他大勢の人の家々に、信者たちが集まるのを見ます。他の伝道方法、個人の聖書研究（使徒言行録8：26-35）や公衆説教（使徒言行録13：44-48）も確かに用いられましたが、基本的には信者のチームが家々に集まったようです。

ケアグループとは？

この育成コースでは、これからケアグループについて説明していきます。ケアグループ（CARE Groups）は、「**キリストの (Christ's)、態度が (Attitude)、反映される (Reflected)、だれにでも (Everyone)**」という意味です。ケアグループは、信者・未信者に霊的成長の温かい励ましの環境を提供します。新約時代のようにそれは、参加者を「使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心」（使徒言行録2：42）にすることができます。すなわち、精神的・社会的・身体的・霊的な必要を包含する全人的な奉仕活動です。今日も、当時と全く同じく、求める人々はこのようなグループに引き寄せられるでしょう。良いケアグループの背後にある力は、ごく単純です。それは人のお世話をすることです。

なぜ成功するのか？

新約時代のケアグループの驚くべき成功は、農業の教えから表現できます。農業には3段階があります。種を蒔き、苗を育て、収穫します。種まきの時期と収穫期は常に楽しみです。教会も多くは、このような順序で活動に専念します。セミナー、コンサート、戸別訪問、文書配布、コミュニティサービスなどは、種まき伝道といえます。組織的な個人聖書研究や伝道講演会は収穫の活動にあたります。しかし、農業の長い厳しい仕事は、両時期の間に要される栽培です。除草、追肥、水遣り、移植、防虫など、そしてこれがほんとうの成長がおこる場なのです。しかしまた、伝道において最もなおざりにされる部分でもあるのです。

ケアグループは、養育の理想的な環境です。私たちが出会う人々は、だれかの家で食事やみ言葉の学びを共にする親しいグループに入るように誘われます。時と共にお互いの交わりが進み、疑問に対する答えを見つけ、人生の中で神様に気付き始めるでしょう。そしてキリストに対する小さな決心に至るでしょう。成長が強制によらず自然に起こり、結果的にキリストにある全的信仰をもつのです。

ケアグループは初めの接触と回心との間の掛け橋となります。種まきと収穫との間の、長くつらい栽培作業ぬきでは、どんなに蒔こうが刈ろうが畑は何も産出しません。同じように、今日の伝道で成功をもたらすのは、人との絆を築く忍耐強い働きだけです。

すべての人に何かが

ケアグループ伝道は、靈的成長のどの段階のどの人にもできます。神さまをまだ知らない人々は、真のクリスチャンの交わりに好ましい第一印象を持ちます。靈的幼児たちはそこに、人の話に耳を傾け、神とともに歩む、頼りになる環境を見出します。少し円熟した弟子たちは、チームリーダーが未信者と接するのを見、どう信仰を分かち与えるかを学びます。時が来れば、その何人かはリーダーシップをとるほどになり、自分のグループをつくり、より大きく成長するでしょう。ケアグループはこのように、人をキリストに連れてくる理想的な方法であるばかりでなく、信者を有用な奉仕へと動員し、備えさせるのです。

全部の教会員が聖書研究を授けたり講演会の説教をしたりする気持にはなれないでしょうが、ケアグループには全員が参加できます。ある人々は接待役で奉仕できます。他の人々は週毎の集会の各場面で指導できます。外向的なメンバーなら対話や笑顔で対応できます。もっと内向的なメンバーは出席や祈りで集会を支えることができます。単純な行為や親切、小さな証の言葉、すべてが違いを生みます。そしてだれもが友人を誘えます。そうです、ケアグループには全員のために何かの役割があります。

討論テーマ：

初代教会では、教会員は小さな集会に加わりました。そこで個人的な必要が満たされ、靈的成長が培われました。今日もどれほどそれが大切でしょうか。あなたも新しいケアグループ組織に参加し、協力してみませんか？

イラストレーション2

農夫のじょうご

第3課 一助け合うグループ



今週は、ケアグループとはどんなものを、もっと深く学びます。特に助け合うグループの重要性、およびその立ち上げ方を考えます。ますます崩壊していく現代の社会にあって、真の助け合うグループの理解はかつてなく重要です。

ペンテコステの時に神の霊が注がれるために、弟子たちはまず一つにならねばならなかったのはなぜか、と考えたことがありますか。多分その理由の一つは、人が社会的な存在だからです。また、人としての可能性を十分に発揮するために、私たちは、周囲の人々とつながって生きることを学ばなければなりません。別な言い方をすれば、私たちは人とかかわりを持つとしない無関心と戦わなければなりません。人々と助け合うことを学ばなければなりません。

共同体は、霊的成長に対する神のご計画の一部です。そして一般的に、求める人々が最もたやすく神様を発見するのは、真の共同体のぬくもりにおいてなのです。



目 標

氏 名 : _____ 日 付 : _____

- [] 使徒言行録 2 : 41-47について聖書探究をしてください。新しい教会員3,000人が一握りの人の働きによって生まれた光景を想像してください。彼らは何をしましたか。その結果は？ この例にもっとよく倣うには、今日の私たちは教会をどう組織できるでしょうか。
- [] 「助け合うグループをつくる」を読み、次の集会で話し合う準備をしてください。あなたの生活を自分なりに評価する時間をもってください。ただの知り合いよりももっと親密な人間関係、または意味のある共同体の基本となる関係について考えてください。
- [] 今週の暗唱聖句は、使徒言行録 2 : 42です。二つ目は自分で選んでください。毎日暗唱してください。
- [] 先回のイラストレーション〈農夫のじょうご〉を復習してください。最初のイラストも続けて復習してください。
- [] もしまだでしたら、ケアグループの必要について祈りを始めてください。あなたの心に、またチームの人々の心に、神が働かれるように求めてください。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

祈りはなぜ力強いのか？
神がその背後におられるからである

署 名 : _____





聖書探究 3

暗唱聖句

「彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。」使徒言行録 2 : 42 (新共同訳)

「そして一同はひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていた。」使徒行伝 2 : 42 (口語訳)

トピック : 使徒言行録 2 : 41-47

要約 : _____

観察・洞察 : _____

原則・適用 : _____
1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

要点 : _____

助け合うグループをつくる

具体的助言

前述のように、新約時代の伝道は家の教会を土台になされていました。エルサレムの教会は、ペンテコステ直後、小さいグループに分けられました。ステファノの殉教後に勃発した迫害の時、サウロは「家から家へと押し入って教会を荒し」ました(使徒言行録8:3)。教会とは、つまり家だったようです。回心後のパウロは家々を土台とした教会で集会を持ち(使徒言行録20:20)、多くの教会員たちが自分の家を伝道に使っていたと記されています

実にイエスご自身がその先駆けです。12人あるいは70人の訓練中、主は家を見つけるように、そこを拠点に働くようにと教えられました(マタイ10:11)。「家から家へと渡り歩くな」とも言われました(ルカ10:7)。主はまた数軒の家を伝道に使い、その見本を示されました。ペトロ、マタイ、ラザロ、シモン、ザアカイたちの家、ほかにカファルナウム、エルサレム、その他で使われた家々の記録があります。

これから先、あなたの家がクリスチャン奉仕センターに変わるための具体的ヒントを見ていきます。助け合うグループ、つまりケアグループをつくるためです。

それ以外に道なし

ケアグループをつくる必須条件は時間です。一緒に時を過ごすことなしに、助け合うグループをつくることはできません。理想的には、ケアグループは最低、毎週1度、1時間半から2時間程度集まります。定期的に集まることが大切です。定期的に集会を持つことは献身の表明であり、献身は信頼と友情を育てます。ですから、週に一度時間を費やす決心をしてください。時間を割く以外に道はありません。

4つの中身

ペンテコステの時に組織された小グループは、4つの内容を持っていたと言われます。「彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。」(使徒言行録2:42)。そのひとつひとつを細かく見てみましょう。ケアグループをつくるための処方箋だと考えてください。

パンをさく

ペンテコステの時につくられた集団の重要な中身の一つは、共に「パンをさく」ことでした。今日も一緒に食事をするのは、グループをつくる上で当時と同じように力があります。

焦点を親しい交わりにおくために軽食、または茶菓のようなものを出し、時間を30分位にしてください。「喜びと真心をもって一緒に食事をし」(使徒言行録2:46)、お互いの一週間の歓談・交わりの時間としてください。食事の用意や費用が決して負担にならないように、よく話し合ってください。

使徒の教え

有効なケアグループの2番目、さらに重要な中身は聖書です。ペンテコステの時のグループは、聖書の学びに中心がおかれていました、ですからあなたのグループもそのようにしてください。これから先、聖書の教え方について考えますが、一般的に、神を知らない人々には単純であることが大事です。また新しい人がいつでも参加できるように組まれていること、実際的であること。人生の疑問に真の答えを与えるために、聖書の力に確信を抱かせること。意見が分かれるような問題はさけること。ここで焦点となるのは、人と人との関係を築くことです。論争的なテーマは別なところで扱えばよいのです。学びの時間は短く、30-40分を守り、友好関係というゴールをめざしてください。

交わり

聖書研究の後には証の時間（交わり）がなければなりません。その週どうだったかを話すチャンスを各自に与えてください。良い点・問題点の両方を言い、祈りのリクエストを挙げてもらってください。ある人は聖書研究から学んだことを実際に適用したことや証を話したいと思うでしょう。重要なのは、メンバーの心と心とがつながることです。また、どんな必要でも満たされるような道をさがすことが重要です。話し合いと行動が一致することが、グループの友好関係を示す力強い道なのです。これがケアグループに対する考えを広げ強めることとなります。

祈り

最後に、ペンテコステの時のグループに最も重要な要素は、祈りでした。各集会を閉じる時に、祈りに慣れた1、2人を選び、グループの必要を祈ってもらってください。祈りの言葉はていねいに真心をこめて。そして短く。クリスチャンでない人がつまずくかもしれないことを言わないように注意しましょう。賢明に心をこめてなされた祈りは、グループメンバーの心を温め、互いを愛で結ぶことができます。そして祈りの答えを見た時に、神さまと、祈ってくれた人々により近く引き寄せられるのです。お祈りの後に解散します。

ケアグループをつくるには、時間を割かねばなりません。しかし、人生が変えられるという大きな見返りを生みます。これはイエスが教えられ、そして初代教会が用いた方法です。私たちは今日の伝道で、これを適宜に復活させなければなりません。

討論テーマ：

初代教会のケアグループは単純な企画のもとにつくられました。軽い食事、やさしい聖書研究、証会と祈りを、毎週定期的に持ちました。これらの要素でどれが一番大切だと思いますか。今日、同じようなことができないでしょうか。何を解決すれば、実現できますか？

イラストレーション3

砂時計

いきいき弟子講座 育成コース（全9課）

第4課 ーチームの立ち上げー



前の講座では、新約のケアグループとはどんなものか、ざっと調べました。この課では、このようなグループをどうスタートさせるかについて考えます。大小さまざまな訓練はまだ先のことですが、いかに始めるかについて考えることは決して早すぎません。あなたが育成篇を終えるまでには、ケアグループの発足の用意と決意ができているようにお祈りいたします。

今週の学びにあたって、あなたのチーム全員が聖霊の静かな小さきみ声をはっきり聞き取ることができるように、神様が強めてくださるよう熱心にお祈りしてください。神様はすべての働き人が信仰をもって踏み出し、変化と進歩へ導かれるように召しておられます。人々をキリストに導くために高貴な働きに乗り出す働き人のみなさん、神様のささやく声が聞こえますか？ 思い出してください。主のご命令はすべて実現します。



目 標

氏 名 : _____ 日 付 : _____

- [] 今週の聖書探究はルカ 5 : 1-11 についてです。これは歴史的な出来事を書き記していますが、今日に深い示唆を投げかけています。特にイエスのお言葉に基づいて、あなたの召命にどう当てはめられるかを瞑想してください。
- [] 「ケアグループの発足」を読んでください。神はあなたにどんな役割をさせようとなさるか考えてください。そのお気持ちがありますか
- [] ヨハネ 4 : 35 を暗記してください。この聖句は私たちの周りのすべてに関心をよせています。ビジョンについて何を提示していますか？ 私たちは他人をどのように見えていますか？ また、他に自分で選んだ聖句も覚えてください。
- [] イラストレーション<砂時計>の学習を始めてください。これを描けるように、またこれまでのイラストレーション全部を復習してください。
- [] ケアグループから益を得るであろう 4-5 人をあなたの接触している人の中から選び、祈りの日誌に入れてください。神がこの人々の心に霊的事柄を求める思いを起さされるよう日毎に祈ってください。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

最もきつい段階は、しばしば
第一歩を踏み出す時である

署 名 : _____



Bible Secrets to Effective Service



聖書探究 4

暗唱聖句

「あなたがたは、『刈り入れまでまだ四か月もある』と言っているではないか。わたしは言うておく。目を上げて畑を見るがよい。色づいて刈り入れを待っている。」ヨハネ4：35 (新共同訳)

「あなたがたは、刈り入れ時が来るまでには、まだ四か月あると、言っているではないか。しかし、わたしはあなたがたに言う。目をあげて畑を見なさい。はや色づいて刈り入れを待っている。」ヨハネ4：35 (口語訳)

トピック：ルカ5：1-11

要約： _____

観察・洞察： _____

原則・適用： _____

1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

要点： _____

ケアグループの発足

具体的助言

初代教会の爆発的成長は、食事・聖書研究・あかし・祈りのために毎週集まった家の交わりを土台として成し遂げられました。そこはメンバーが定期的に新しい友だちを招き、霊的成長のために支援する環境を備えた場所でした。真の交わりによる改変力によって人々の心が動かされたのでした。その同じアプローチは今日も似たような結果を生むでしょう。

次の説明は、あなたのケアグループを発足させる基本的なガイドとなります。特別難しいものではありませんが、準備・努力・祈りが必要です。提案によく従ってください、そうすれば、あなたのグループはほどなく会合を開くようになり、キリストのために他の人に到達するでしょう。

核をつくる

チームをつくる第一歩は、共通のビジョンと重荷を分かち合える、献身したメンバーを集めることです。理想的には、いきいき弟子講座の仲間、または育成コースの修了生です。いずれにしても、中心になる人々は、ケアグループの原則や戦略を理解していることが肝要です。そうでなければ、意見の異なる人たち同士での緊張関係や論争が起こるかもしれません。祈りをもってグループを選んでください。適切なチームの集まりが成功の決定的要素となります。

次に、リーダー達をそのグループから選ばなければなりません。リーダー、副リーダー、お世話係などが必要です。リーダーは、ケアグループの成功、集会の多様な分野の責任をもちます。副リーダーは、リーダーの責任の一部を担当し、リーダーが休む場合には代理を務めます。副リーダーも自分のチームを持って弟子を訓練している人であるとよりよいでしょう。お世話係は自分の家庭を開放し、グループのために快適な環境を提供します。まれにお世話係がリーダー（または副リーダー）である場合もありますが、通常はこの責任は別々の人が担当したほうが一番よいのです。

発足の計画

中心メンバーが決まると、ケアグループ発足に向けて注意深く計画を立てます。細かい相談のためにミーティングが2、3回必要かもしれません。しっかりと前向きに進み、ゴールからそれることのないようにしてください。さまざまな障害によって船出が遅れるかもしれませんが、それにくじけてはいけません。以下の項目は計画を立てるときのチェックリストにしてください。

- 場所：どこで会をもつか。教会よりも個人の家、できればいつも同じ家で行うこと理想的です。たいていはお世話係の家になります。
- 日時：週の何曜日の何時に集まるか、何時間くらいか。
- 教材：教団伝道局から教材を取り寄せます（教団のホームページの伝道局・信徒伝道部のコーナーからこの教材のPDF ファイルをダウンロードすることができます）。リーダーは初めの数週間分を必要部数準備しておきます。
- 責任：リーダーによるで責任の分担。聖書研究係、証・祈り会係、送迎係、連絡係、食事係など。交替制にすることも可能。
- コミュニケーション：牧師・教会長老などのリーダーにこまめに情報を伝え、助言や提案を仰ぐ。ケアグループは、教会全体と共に働くとき、最もよく機能します。

注：立案・計画は一回だけの仕事ではありません。リーダーやメンバーは、少なくとも月に1度は状況を評価し、もし問題があれば改善しなければならないでしょう。

求道者をさがす

計画ができあがると、いよいよ求道者を見つけるという、本当の仕事が始まります。求道者とは、より良い人生を求めている人です。その人は、自分が探しているのは神様だ、と分かっているかもしれませんが、まだ分かっていないかもしれません。しかし、より良い人生を求めていることには違いないのです。あなたのチームのゴールはそのような人を探し、ケアグループに誘うことです。

以下にアイデアを挙げます。自分のアイデアを加えてください。チームの各自は、人を誘うために毎週何かをするよう努めます。

- 教会に出席している未信者や訪問客に注目する。自分を紹介して、グループに誘う。
- 興味を持ちそうな人を牧師や教会リーダーに紹介してもらおう。教会に求道者ファイルがあれば、見せてもらう。
- ケアグループ場所の近隣や友人知人などに案内チラシを配る。
- どんな知り合いでもできる限り案内・電話の幅を広げること。個人的な接触が最も大切なアプローチです。

たとえチームが初めは小さくても失望しないでください。たとえ求道者ひとりでも、充分始められます。そこから伸びていきます。鍵は、始めることです！

討論テーマ：

ケアグループを発足する用意はできていますか。あなたはどんな役割を担いますか。リーダー・副リーダー・お世話係・それともメンバーですか？ あなたのメンバーはどんな役割に適していますか。

イラストレーション4

SHIFT

第5課 —愛の動力—



育成コースのこれまでの学びはいかがでしたか。第5週のテーマは「愛の動力」です。この課には、よいケアグループをつくるための最も大切な鍵が含まれています。あらゆる真の伝道の背後にある動力、それは愛です。この「愛の動力」を祈りつつ学んでください。

この課は育成コースの中間に当たります。これまでのあなたの進歩を振り返るによい時期です。学習の進み具合はいかがですか。暗唱聖句、イラストレーションは理解できていますか？ もし遅れているようでしたら追いつくよう努力してください。何よりも大切なのは、学びを終了した後の計画を立てることです。主の至上命令を成し遂げるためには時間と労力がかかります。今、主のための献身者が必要とされています。人々のお世話の仕方を知っている人、愛の動力で押し出された人がそれです。



目 標

氏 名 : _____ 日 付 : _____

- [] テサロニケ1・3：1-13の聖書探究をしてください。特に、パウロが手紙の中で示している信者への愛に注目してください。彼の人々への献身を、どうすれば私たちも見習うことができるでしょうか？
- [] 「ケアを学ぶ」を読んでください。あなたの交わりの能力（人間関係術）をふりかえってみてください。旧友で連絡を取り合える人はいますか？ 現在、あなたが関わっている人々の中に、もっと親しく交わることのできそうな人はいますか？ さらに新しい人々と出会うことができるよう、神様に祈り求めてください。
- [] ヨハネ13：34、35及び余力のある人は自分で選んだ聖句を暗記してください。聖句カードを有効に使っていますか？
- [] イラストレーション「SHIFT（転換）」を復習してください。聖句カードに書くと学ぶ助けになります。
- [] あなたの「求道者」リストの人々のために祈り続けてください。もしできれば、今週その中のひとりに話しかけてください。少しでも霊的興味を示したら、あなたのケアグループについて話してみましょう。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

頭にはビジョン
第一歩を踏み出す時である

署 名 : _____





聖書探究 5

暗唱聖句

「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」ヨハネ 13 : 34、35 (新共同訳)

「わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう。」ヨハネ 13 : 34、35 (口語訳)

トピック : テサロニケ 1・3 : 1-13

要約 : _____

観察・洞察 : _____

原則・適用 : _____
1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

要点 : _____

ケアを学ぶ

具体的助言

多くの人がケアグループをつくろうとする時、「自分は知恵や力に欠けている」という思いが心をよぎります。しかしキリストのために人と交わることに、ギリシヤ語やヘブライ語の知識も、管理能力や神学的技巧や弁舌も、あるいは他のどのような専門的能力も要求されていません。これらの能力にはそれぞれの役割がありますが、何よりも必要なのは人を真心からケアする能力、すなわち愛こそが、伝道の背後にある「動力」なのです。

コロサイの信徒への手紙の中で、パウロは「これらすべてに加えて愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです」(コロサイ3:14)と書いています。言い換えると、人々をつなぐのはケア(面会をみること、世話をすること)なのです。ご存知のとおり、愛の反対は憎しみではなく、無関心です。すなわち、愛さないことは、ケアしないことです。ケアについてのこれからの学びは、キリストのためにより有用な働き人になれるよう、あなたを備えてくれるでしょう。

ケアは内側から

愛は心の中で始まります。伝道の成功は、人々をどのように見るか、心のあり方、態度が、どんな方法よりも左右します。道具は大切ですが、真の成功は人々への愛から生まれます。人々と仲良くなるための重要な5項目を次に挙げます。

1. ケアは隠れた価値を見る

すべての人間は神様にとってすばらしい価値のある存在です。ルカ12:6、7を見てください。人の価値は、美しさ・知性・力などのようなものによるのでもなく、私たちが神様のご性質にあずかることができるという能力によるのです。つまり人は「土の器」にすぎませんが、「神様の栄光」を受け入れる力を持っているのです(コリント2:4:6、7)。私たちは外観によって人の価値を判断する傾向がありますが、神様は人の内側、すなわちイエスのご品性を反映したいと願う心を見られます。リーダーも、人々をこのように見る必要があります。人にはイエスのようになりたいと願う能力が与えられており、そこに人の価値があるからです。

2. ケアは可能性を見る

価値に加えて、人はまたしばしば驚くべき可能性をもっています。ルカ8:38-40を読むと、悪霊を追い出してもらった人は「ことごとく町中に」、イエスがしてくださったことを言い広めたと書かれています。イエスが帰って来られると、「群衆は喜んで迎えた。人々は皆、イエスを待っていたからである」とあります。同じように、ヤコブの井戸の女性に弟子たちは何の可能性も見出しませんでした。イエスは彼女の可能性をよく知っておられました。彼女は、町中の人々がイエスの話を聞きに来るように導いたのです。それは、弟子たちが思ってもみなかったことでした(ヨハネ4:28-30、39参照)。要するに、あなたがキリストに導いた人を、神様がどのようにお用いになるかは予想することができないということです。

3. ケアは関心を示す

神さまは、父親のように常に細やかな心配りで、私たちに対する愛を表わされます。ダビデ王はこのことに注目して、詩編139編に次のように書きました。「その驚くべき知識はわたしを超え あまりにも高くて到達できない」「あなたの御計らいは わたしにとっていかに貴いことか」。私たちも同様に、周囲の人をよく知るために努力し、その悩みや苦しみに気付かなければなりません。温かくケアをし、心からの関心を示すのです。

4. ケアは犠牲を要求する

キリストの究極の愛は、十字架上で命を捨てるという行為に現れましたが、その生涯は初めから終わりまで自己否定(利他)そのものでした。またイエスは、周囲の人々に時間をささげることによって、絶えず自分の命を与えておられました。イエスはすべての時間を喜んで人々のために捧げられたのですから、私たちも、日々、時間を割いて、人々をケアすることが求められています(ヨハネ1:3:16、ヨハネ15:13参照)。

5. ケアはあきらめない

ケアの特徴の一つは、決してあきらめないということです。望みを持って祈り、行動することを決して止めません（コリント1・13：7、8参照）。キリストに似た愛は、成長しない人や、要求ばかりする人に失望しません。ちょうど神さまが私たちに対して辛抱強くいてくださるように、信仰によって、私たちも辛抱強く人々をケアするのです。愛は決して、あきらめません。

ケアを行動に

ケアは心の中（内面）から起こるものですが、行為（外面）によって表現されるものです。愛は何か漠然とした情緒や感情ではありません。それは現実的であり、具体的な行為として理解され、表されるものなのです。ケアグループで次のような実際的な行動を実践するよう提案します。

- お便り：旅行したら絵葉書を送る。メンバーや家族の誕生日を覚えておいてカードを送る。大切な記念日もお忘れなく。
- 外出：教会やコミュニティでのイベントにケアグループの人々も招く。グループで小旅行やドライブなどを楽しむ。
- 電話：時々、電話をかけて、様子を聞き、短い祈りをする。この数分間の積み重ねが大きな成果をもたらす。聖句のメッセージも伝えることができる。
- インターネット：お知らせを個人または全体にメールする。祈りのリクエストは週単位で新たにするとよい。
- 訪問：定例集会の他にメンバーに会う機会をつくる。個人の家で会うことは、人をよく知る絶好の機会。
- 伝道：新しいメンバーの関心を引くような活動に参加するよう励ます。各自がケアグループの一員であることを自覚し、帰属意識を持たせる。

討論テーマ：

伝道はたしかに難しいことです。しかしその秘訣は、私たちが勝ちとろうとしている人のために心を込めてケアすることです。信頼の絆で結ばれるためには、あなたの態度や行為をどのように変えたらよいでしょうか。

イラストレーション5

MOTIVE

第6課 一朽ちない種—



第6週は、神様の御言葉の役割と、人がキリストに引きつけられるように御言葉を伝えるにはどうするかを学びます。パウロが書いているように、「命の言葉」をしっかりと保ち、「キリストの日に誇ることができる」ようになりたいと願うものです（フィリピ2：16）。神様の御言葉は「朽ちない種」と表現されています（ペトロ1：23）。心に蒔かれると、種は成長を始めます。そして十分な時間が与えられると、「神の知識に逆らうあらゆる高慢を打ち倒し」ます（コリント2・10：5）。そして、ついに心がキリストに明け渡されるまでになります。しかし、それには時間がかかります。おそらく一夜ではそれは起こりません。ですからケアグループが必要です。もちろん、神様の御言葉を生き生きと他に分け与えるためには、御言葉が自分の人生の土台であると確信しなければなりません。私たちは常に御言葉を蓄えていかなければなりません。聖書を読み、学び、暗唱することです。神様の御言葉が私たちの内に深く根ざしていなければなりません。



目 標

氏 名： _____ 日 付： _____

- [] 聖書探究をしてください。今回はヨハネ15：1-16についてです。この背景は、聖句の重要性について何を示唆していますか。16節によれば、あなたの人生に対する神さまのご計画は何ですか。そしてそれが成就する鍵は何ですか。
- [] 「聖書を開く」を読み、知恵・理解・悟りの違いをはっきりとさせてください。御言葉を個人的なものにするために、これらをどのように使うことができますか？
- [] ルカ24：32と余力のある人は自分で選んだもう一つの聖句を暗唱してください。これまでの聖句を全部言えるようにして次の集会に来てください。
- [] これまで学んだイラストレーションを復習し、「MOVITE」も勉強してください。人のお世話を現実実践することを学ぶのは、ケアグループにとって絶対に必要です。
- [] あなたの求道者リストにある人々のために祈り続けてください。あなたの会話を霊的なものに結びつける試みをしてください。関係を築き、絆を強めるための「MOTIVE」（イラストレーション5）からアイデアを得てください。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

あなたの土台の深さは建物の高さを決める

署 名： _____





聖書探究 6

暗唱聖句

「二人は、道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。」ルカ 24 : 32 (新共同訳)

「彼らは互に言った、「道々お話しになったとき、また聖書を説き明して下さったとき、お互の心が内に燃えたではないか」。ルカ 24 : 32 (口語訳)

トピック : ヨハネ15 : 1 - 16

要約 : _____

観察・洞察 : _____

原則・適用 : _____
1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

要点 : _____

聖書を開く

具体的助言

初代教会において神の御言葉は明らかに重要でした。エルサレム教会について第一に言われていることは、「信者たちは使徒の教えをしっかりと守り続けた」ということです。教会が大きくなり、運営上のいろいろな問題にぶつかった時に、使徒たちの態度は、「わたしたちが、神の言葉をないがしろにして、食事の世話をするのは好ましくない。……祈りと御言葉の奉仕に専念する……」（使徒言行録6：2、4）でした。その結果、「神の言葉はますます広まり、弟子の数はエルサレムで非常に増えて」いったのでした（7節）。

パウロはこのように「神の御言葉を教えること」に専念しました。「こうして、主の言葉はその地方全体に広まり、やがてだれもが「主の言葉を聞くことになった」（使徒言行録18：11、13：49、19：10）。キリストの側に人々をかちとるために、私たちも御言葉を巧みに教えるわざを学ばなければなりません。

基礎

聖書の理解には三つのレベルがあります。そしてそれらはみな神様から来ます（箴言2：6）。パウロの祈りは、信者たちがこれらをもみな経験することでした（コロサイ1：9）。この三つのレベルとは「知識、理解、知恵」です。これらを以下に手短かに説明しましょう。

- 知識：真理の発見とは、何が書かれているかを注意深く調べることによって始まります。聖書はさまざまな歴史的、教理的、さらには科学的な記述から成っています。どれも価値があり確かなものです。その事実には注意をはらうことが大切です。知識は次のような質問に答えます。聖書はいったい何を教えているのか？
- 理解：表面のすぐ下には数知れぬ原則があります。特に律法という原則は、何が善であり悪であるかを教えてくれます。原則は、律法のみならず、聖書の約束、警告、命令や物語の中にも見出されます。瞑想することによって、聖書から原則をくみとることができます。理解は次のような質問に答えます。神様は私たちがどう生きることを望まれるか？
- 知恵：一番大切な段階は、見出した原則を自分自身の生活に適用することを学ぶことです。原則を実生活の変化、決心、計画、目標などの目に見える、また形ある行動に移さなければなりません。賢い人とは、神様のご意志を理解するだけでなく、行動する人のことです。知恵は次のような質問に答えます。今、私は何をすべきか？

教え方

聖書研究のゴールは、上記の過程を経て人々を適用の段階まで導くことです。つまり、知識から理解、さらに知恵にまで導かなければなりません。そのためにはまず、自分自身が勉強しなければなりません。人に分け与えるためには、まず自分自身が神様から光を受けなければなりません。次に、同じく上記の過程を通じて導くための質問を用意します。ケアグループのような場では、できるだけやさしい質問をすることがとても効果的です。適切な質問によって、あなたが事実や原則を見出だしたように、人々をも同じような経験に導くことができます。良い質問は、知識・理解・知恵の成長を助けてくれます。うまくいくための鍵は、前もって質問を書き出しておくことです。用意した質問を終えるためには30-40分の時間が必要でしょう。質問は以下のようなパターンに沿ったものにしておくとうまいでしょう。

- これから学ぶトピックに結びつく質問。単純で興味あること。だれもが答えるチャンスを与える。
- 次に、これから学ぶ聖書箇所の内容に関して質問をたくさん用意する。一緒に読み、質問して、何が書かれているかを参加者の心にはっきりさせていく。

- その聖句になじんできたら、原則を引き出す。質問した後、グループで話し合うために十分な時間を与える。なぜ、またどのように神様は働かれるのか。何が今日の私たちへの御心なのかなどについて焦点を当てた質問をする。
- 最後に、学んだ聖句を自分の生活に適用する計画について、各自が述べるチャンスを与える。場合によっては何が望ましい適用かを説明することも必要。リーダーは、毎週メンバーが分かち合うための適用の例を準備しておくこととよいでしょう。

最後に

ケアグループの目標は、求道者との関係を培い、霊的な成長を助けることなので、学習を単純にすることが大切です。難しいテーマや、意見が分かれそうな話題をさけて、グループ内の求道者の必要に合うものを選んでください。数週間、参加者の興味を保ち続けることができるもので、教師の負担の軽いシリーズ教材を用いるとよいでしょう。トピックは単純でも、教師はその聖句に未熟であってははいけません。また、学習のゴールから脱線してはなりません。メンバーの中には、変った考えの人や懐疑的な態度の人かもしれませんが、受け入れましょう。聖書の御言葉がその人の心に働くチャンスを与えてください。時がくれば、神さまの御言葉は最もかたい心をも貫くことができるのです。

討論テーマ：

有用な教師であるために、私たちは聖書中心主義でなければなりません。キリストの御言葉を生き、呼吸しなければなりません。あなたはいかがですか。御言葉を個人的に得るために最高の努力をしていますか？ 人に教えるにあたって、自分をさらに良く整えるためには、どこを変えることができるでしょうか？

イラストレーション6

左手 HEART

第7課 一主のために働く一



今週もさらに重要な鍵によって、伝道を成功させる研究を続けます。特に、私たちのケアグループが伝道的であり続けるためにはどうしたらいいのでしょうか。任務から目を離さないためにはどうすればよいのでしょうか。人をキリストに導くことがゴールであるなら、それを確実に達成するにはどうすればいいのでしょうか。さあ学びを続けましょう。

あなたの仲間の士気を高めることができるよう、祈りのうちに努めてください。あなたがたはそれぞれ強い道具で装備されています。それらを用いて何をすべきでしょうか。「収穫は多いが働き手が足りない」のですから、働かなければならないのです。イエスが弟子たちに「収穫の主にお働き人を送ってください」と言うよう急ぎ立てられたのは、実にこの不足のゆえでした（マタイ9：37、38）。この祈りを今日も熱心に祈ってください。そうすれば、神がどのように応えてくださるかに驚かされるでしょう。



目 標

氏 名： _____ 日 付： _____

- [] 今週の聖書探究はローマ12：1－11についてです。チームワークと霊の賜物の役割に注意をはらってください。ケアグループが伝道に目を向けていることについて、この聖句からどんな教訓を学べますか？
- [] 「伝道に動員」を読み、祈りながら熟考してください。
- [] ローマ12：10、11を暗唱してください。教会内で互いがどう関わり合うか、また周りの社会に対してはどうか、両方とも伝道という観点から述べられています。自分で選んだ聖句も覚えてください。暗唱はあなたのやる気にかかっています。
- [] 今週数回、イラストレーション〈左手〉を記憶でできるようになるまで復習してください。あなたはどの指が弱いですか？ 強めるには今週何ができますか？
- [] あなたの求道者のための祈りを続けてください。あなたの会話に「SHIFT」を、また人とのふれ合いに「MOTIVE」を使ってください。ケアグループ計画はどのようになっていますか？ 実施に力を入れてください。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

手には5本の指がある。みな違うが、みな一緒に働く。

署 名： _____





聖書探究 7

暗唱聖句

「兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。怠らず励み、霊に燃えて、主に仕えなさい。」

ローマ 12 : 10、11 (新共同訳)

「兄弟の愛をもって互にいつくしみ、進んで互に尊敬し合いなさい。熱心で、うむことなく、霊に燃え、主に仕え、」ローマ 12 : 10、11 (口語訳)

トピック : ローマ 12 : 1 - 11

要約 : _____

観察・洞察 : _____

原則・適用 : _____

1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

要点 : _____

伝道に動員

具体的助言

育成コースの初めに、私たちは伝道の緊急性を知り、この世代に到達する鍵は初代教会の方法—信者の家を用いる方法—に戻ることだと提案しました。そして、これを効果的に実行するための聖書のさまざまな原則を吟味しました。特に、ケアグループという計画を紹介しました。そのゴールは、初めから、人々をキリストに導くことでした。

どの分野においても、成功するには明確な目標が絶対に必要だといわれています。あなたのビジョンがどれだけ明確であるか、それを遂行するためにどれだけのエネルギーを注ぐかに成功の度合いはかかっています。あなたのグループを伝道に向けさせるためのいくつかの鍵を以下に述べていきます。

第一のルール

あなたのチームが伝道的であり続けるためには、簡単なルールを決めることが役立ちます。「求道者なくしてケアグループなし」。つまり、どんなケアグループも、未信者の参加者が4、5か月も1人もいない場合は解散すべきです。その場合、メンバーは他のケアグループへ合流する、新しい地域に移動する、または新しいリーダーによるグループを作ることになります。別な地域の求道者の近くに新しいケアグループを始める場合もあるかもしれません。これは厳しいですが、重要なルールなのです。

ケアグループは簡単に信者同志の同好会に流れやすく、伝道感覚や目標を見失いがちになります。この基本的なルールをはっきり打ち出しておくことは、そのような危険を防止することになります。また、ケアグループは永遠に続ける必要はありませんから、グループの状況によっては続行するか止めるかを定めることができます。これがグループを生き生きさせ、ダイナミックにし、活力を与えるのです。どのグループにも求道者がいることが、そのメンバーの努力や犠牲に意味や報いを与えてくれるのです。

絶えざる募集

このルールの自然の結果ですが、どのグループも常に継続的に人を募集しなければなりません。メンバー全員が友人・知人を誘う責任を感じなければなりません。ケアグループは、人脈を駆使して成長する時に最も良く機能します。各自はそれぞれ、他のだれもが入り込めない人間関係のネットワークを持っているものです。中核メンバーにこのことを定期的に思い出させることも役に立ちます。

またメンバーに、人と接する個人的な方法を研究する努力を促してください。たとえばチラシ配布などができます。戸別訪問や電話、案内状送付の方が得意な人もいるでしょう。教会に近隣地域の情報データベースがあれば訪問伝道ができます。特別イベント、料理講習会や親業講座などを開けば、人々を引きつけることができます。地域のスポーツや文化活動の同好会に参加すれば、新しい人々に出会うチャンスになります。教会を訪問してきた人はだれでも、一番の候補者とみなすべきです。鍵は、グループの成長のために毎週何かをするという各自の献身にあります。

あなたのチームが、定期的にケアグループの集会に出席して活動に参加する求道者を獲得したなら、その人にも自分の友人を誘うように勧めることができます。多くの場合このような人が最も効果的な募集係となります。彼らは既に教会の外に多くの友人ネットワークを持っているからです。あなたのケアグループで常に募集体制を保ってください、そうすれば確実に成長することができるでしょう。

個人的な学習

ケアグループの伝道志向を保つもう一つの鍵は、集会でのグループ学習を、できるだけ個人的な学習で補うことです。通常、数か月に渡って集会に出席したら、集会では扱われない深い質問を持ち始めます。もしそうならなければ、集会での学びの時間に時々興味を引くようなコメントや聖書の言葉を紹介して、参加者が聖書に対する知識の渇きを感じるように導くとよいでしょう。大切なのは求道者が質問をしたとき、それをどのように扱うかということです。

良い応答の例をあげておきましょう。「それはすばらしい質問です。でも、ここで答えるには時間が足りません。ケアグループ以外のところで、それを考えましょうね。」単純な質疑応答の時間を短いシリーズが終わった時に、また1話完結のテーマの最後に持つことができます。質疑応答の時間を定期的にとることもできるでしょう。大切なことは、求道者が学びを続けるよう導き、グループの活動に参加し続けるよう導くことです。やがて彼らはキリストを受け入れ、教会に連なる決断へと導かれるはずです。

伝道講演会

伝道について最後のポイントを述べなければなりません。それは、ケアグループの伝道活動は注意深く教会の活動と協調しながら実行しなければならないということです。すなわち、伝道の年間計画は、事前に牧師・理事会とよく話し合い、ケアグループのリーダーたちは適切にそれぞれの伝道イベントを推進するということです。求道者は教会行事に招待されて教会を訪問すると、ケアグループの仲間に温かく囲まれます。教会では毎年少なくとも1度は伝道講演会を企画して、ケアグループの仲間たちが求道者に出席を勧めることができるよう準備するべきです。多くの場合こうした大きな伝道のための集会は、求道者の回心へのよいきっかけになります。講演者が決心のアピールをすると、これまでケアグループ集会で受けてきたすべての印象がその求道者に迫ってきて、キリストに向かって一步を踏み出すことができるのです。ケアグループ活動が、絶えざる募集・個人的な聖書研究・伝道講演会と結ばれる時、人々をキリストに従う決断へと導くことができるのです。

討論テーマ：

魂をかちとるために、各自はどんな役割を持っていますか。グループは？ 教会は？ その任務を自覚させ続けることはどれほど大切ですか？ 伝道から焦点をそらせたり、注意を散らせたりするものが、あなたの生活にありますか？

イラストレーション7 右手 CLEAR

第8課 一群れを爆発させる



育成コースも終わりに近づいてきました。毎週の課題に取り組んだあなたの努力が、多いに報われ、来るべき日に多くの方がキリストに導かれますようにお祈りいたします。イエスの来られる時まで、ケアグループが常にあなたのクリスチャン経験の重要な部分でありますように。

この講座では、ケアグループが大きくなりすぎたら何をすべきか、ということを取り上げます。答えは、リーダーをふやすことです。多分あなたは、チームを指導できるとは思っていないでしょう。しかし時に、状況は違ってきます。神さまは、喜んで奉仕をしたいと願っている器であれば御用のためにお使いになれます。もし今日忠実なら、指導者への召命は間もなく来るでしょう。

最初の講座で、すべての信者はキリストのために影響を与える潜在力を持っていると述べました。これはこれまで以上に今、あなたについて真実なのです。



目 標

氏 名 : _____ 日 付 : _____

- [] 今週の聖書探究はテモテ2・2：1-7についてです。ここに際立っているリーダーシップの条件と特徴に注目してください。
- [] 「再生」のページをよく読んでください。あなたはこの情報が予想より早く必要になるかもしれません。
- [] 暗唱聖句はマタイ9：37-38です。この聖句は、失われた世界を救うためのイエスの戦略を強調しています。自分で選んだ聖句も暗記してください。まだ完全に覚えていない聖句があれば努力してください。育成コースが終る前に全部を覚えるというゴールを定めてください。
- [] イラストレーション「左手」は、どのように神さまの御言葉をしっかり保つかを示しています。イラストレーション「右手」は、ケアグループをとおして未信者をしっかり保つにはどうすれば良いか、について教えています。キリストのために人に近づくには、両方が必要です。
- [] 今週を祈りと計画に最も熱心な週にしてください。人々の心を得るために「SHIFT」と「MOTIVE」の両方を使ってください。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

感情は行動の代わりにならない
活動は生産性の代わりにならない
生産は再生の代わりにならない



署 名 : _____



聖書探究 8

暗唱聖句

「そこで、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。」 マタイ 9 : 37-38 (新共同訳)

「そして弟子たちに言われた、「収穫は多いが、働き人が少ない。だから、収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにしてもらいなさい」。 マタイ 9 : 37-38 (口語訳)

トピック : テモテ 2 : 2 : 1-7

要約 :

観察・洞察 :

原則・適用 :

1.

2.

3.

4.

要点 :

再生

具体的助言

初代教会は成長、しかも爆発的な成長によって注目されました。これまでの育成コースの原則を忠実に実行すれば、あなたのケアグループも成長を経験できるはずです。メンバーが友人や仲間をケアグループに誘うチャンスを生かすなら、より目的志向の伝道精神に満ちた活動になります。また、教会の他の人々もケアグループで起こっていることを耳にして、加わりたいと思うでしょう。求道者でさえ、真の共同体に加わることによって感じる帰属意識によって、友だちを誘い始めるでしょう。それは起こり得るのです。

一方、成長は成功のしるしです。神さまがあなたのグループに働いておられる証拠です。しかし、問題を抱えることにもなります。グループが大きくなりすぎると、かたく結ばれたケアグループの緊密さをこわしてしまいます。グループ内の人数が増えすぎると成長を妨げます。鍵は、「再生」です。そこで、一つのグループが二つになる過程をうまく管理するためのいくつかの基本的な提案をいたします。

リーダーを見つける

グループの定期出席者が14-16人になったら、新しいケアグループ発足について考え始める時期です。リーダーはメンバーに、グループを分ける必要を告げ、新しいリーダーを選ぶ導きを神に祈るよう求めます。通常は、副リーダーが新しいグループのリーダーになり、新しい副リーダーを2人選ぶことです。あるいは、それぞれ新しいリーダーと副リーダーが選ばれるかもしれません。新しいグループをつくる意欲があるリーダーを外から連れてくることも可能です。集会の場所やお世話係も探さなければなりません。神さまの御心にある人々が、時には名乗り出てくれる場合もあります。ある場合には依頼されるのを待っている人もいますでしょう。いずれにしても、神様のお導きを熱心に祈りつつ、賢明に選んでください。

リーダーは人とよく協調し、さまざまな賜物や才能を分かち合えるような人物が選ばれるべきです。霊的で、親しみやすく、組織力があり、献身的でなければなりません。できれば、育成コースを修了し、ケアグループに参加した経験が少しでもある人が望ましいでしょう。教会指導者に協力して働くことも重要です。教会における長期のケアグループ伝道は、グループ内だけでなく、教会指導者たちとの間においてもチームワークが要求されます。

もしふさわしいリーダーが見つからなければ、新しいグループの発足はできません。神さまがふさわしいリーダーを起こしてくださるよう祈り、待たなければなりません。メンバーにもそのように勧めてください。

過渡期

新しいケアグループのリーダー発掘は、戦いの半ばにすぎません。残りの半分は、新しいグループに加わるメンバーの発掘です。かたく結ばれたグループにとって、2つに分かれることは困難なことです。成長を続けようとするればそれは避けて通れません。グループはある場合には、新しいリーダーたちの人間関係に沿って自然に分かれます。他の場合には、幾分かの励ましが必要なこともあるでしょう。新しい出発を伝道という観点から捉えるようにチャレンジしてください。

ここに過渡期をスムーズに乗り越える方法を紹介します。まず、新しいケアグループが間もなく作られること、新しいリーダーが選ばれたことを発表します。そして、新しいグループの成功のためにメンバーのひとりひとりが祈るよう励まします。この発表を数週間くりかえします。その間、新しいリーダーは短い聖書研究シリーズを準備し始めます。これらの準備ができれば、グループは移行段階に入ることができます。すなわち、グループ全体が1か所で会い、一緒に食事をしますが、聖書研究や分かち合いはその家の2か所に分かれて行います。各自はどちらに行くかを自分で選べるようにします。ただし、人数的には平等になるように分けます。この過渡期は6-8週間か、またはメンバーがどちらかのグループに落ち着けるほどの長さにします。こうして2グループがまとまったら、ようやく2か所に分かれることができます。グループ分割は急がないようにします。ちょうど赤ちゃんが大きくなるのに何か月もかかるように、新しい共同体を創るには時間がかかるのです。

新しいグループ設立は、しばしば両グループの士気を高めます。グループの人数が少なくなった分、募集の努力に力が入ります。正しい時期のグループ分割は、成長を加速させます。やがて両グループがまた再生の段階に入るでしょう！

共に前進

長期的成功のためには、さまざまなケアグループのリーダーたちが共に働く必要があります。最初の分割後、両グループのリーダーたちは月に1、2度会って、祈り合い、様子を話し合い、互いに励まし合いをします。教会に3つまたはそれ以上のグループができるころには、ケアグループ・コーディネーター（適任者がいなければ牧師でもよい）をおくことが最善です。

その役割は、全てのケアグループ活動を維持し、成長を助けることです。全グループを訪問し、状況を調査し、改善の提案をします。リーダー会を計画し、祈り・訓練・証・報告などを行います。また新しいケアグループのリーダー選出を監督し、教会員を勧誘します。新しいリーダーを募るための手段として弟子訓練セミナーを開くこともできます。ケアグループ・コーディネーターは、教会理事会のメンバーとして、可能な限りどこへでも出かけて、伝道の企画・実践を助けるべきです。教会牧師や他のリーダーたちと密接に働き、各グループの現況を常に把握していただく必要もあります。このように責任を負担するために献身したリーダーを持つことは、全てのケアグループが共に前進していくために不可欠です。

討論テーマ：

あなたは今、ケアグループを導く基本を知りました。では、あなたとあなたのメンバーはどんな階段（ステップ）を踏むべきでしょうか。具体的な実践計画を仕上げてみましょう。計画は実施可能なものであることが大切であることを忘れないでください！

第9課 —御業完結！—



育成コース最後の講座になりました。一緒に学び始めたのがまるで昨日のようです。最初の暗唱聖句を思い出せますか？聖書探究はどうですか？しかし、今はまだ始まったばかりなのです。皆さんの前には、すばらしい冒険への入り口が見えています。積極的な奉仕に携わるとき、あなたは以前よりも早く成長しておられることに気づくでしょう。この先にはさらに興奮するような経験が待っています。

イエスが間もなく来られるという大いなる確信が私たちをこの学びに駆り立てます。しかしまず第一に、神様は大宣教命令を成し遂げようとする男女の働き人の軍隊を興さねばなりません。これらの働き人は神様の御言葉の力をおして立てられ、弟子訓練をおして強められ、チームに組織されて活動します。時は短いのです。あなたの人生をイエスに捧げてください。目標に向かって進みましょう。キリストの栄光の来臨に向かって急ぎましょう。



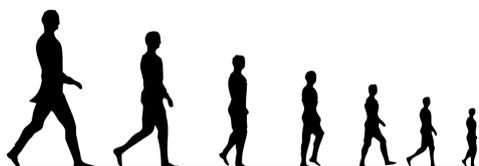
目 標

氏 名： _____ 日 付： _____

- [] ヨハネ17章について、最後の聖書探究をしてください。ここは聖書の最もすばらしい章の一つです。ここにイエス・キリストのビジョン（幻）をはっきりと見ることができます。あなたの心にも同じビジョンがしっかり写されるように祈ってください。
- [] 「教会を解放する」をよく読んでください。次の集会で話し合う用意をしてください。
- [] 最後の暗唱聖句はイザヤ6：8です。この句と、これまでの聖句を全部言えるようにしてください。神さまの恵みによって、あなたは間もなく修了します。
- [] すべてのイラストレーションを覚えましたか？一瞬見ただけで完全に再現できますか？
- [] もし、まだ終わってなければ、ケアグループ発足の計画を今週は完成してください。また「SHIFT」「MOTIVE」を使って、募集の努力を続けてください。上達していますか？すべてを祈りのうちに行ってください。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

増殖は、1人ひとりの人生をおして世界に到達する



署 名： _____



聖書探究 9

暗唱聖句

「そのとき、わたしは主の御声を聞いた。「誰を遣わすべきか。誰が私たちに代わって行くだろうか。」わたしは言った。「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください。」イザヤ6：8 (新共同訳)

「わたしはまた主の言われる声を聞いた、「わたしはだれをつかわそうか。だれがわれわれのために行くだろうか」。その時わたしは言った、ここにわたしがおります。わたしをおつかわしてください」。イザヤ6：8 (口語訳)

トピック：ヨハネ17：1-26

要約： _____

観察・洞察： _____

原則・適用： _____
1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

要点： _____

教会を解放する

具体的助言

昇天する前に、キリストは弟子たちに緊急の働きとして福音を全世界に伝えることを命じられました。イエスのご生涯と働きの良き知らせを知る機会を、すべての男・女・子どもに与えることです。罪からの救いの良き知らせと、永遠の命の希望とを知る機会が彼らに与えられなければなりません。

2,000年の間、サタンはこの働きを邪魔してきました。多忙・自己満足・失望・恐怖・その他の武器を用いて、サタンは神の教会を束縛し、奉仕をさせないようにしたのです。その結果、救霊の働きが遅れています。山ほどの働きが残されているのです。

この働きを成し遂げるただ一つの手段は、教会がこれらの束縛から解放されることです。あなたの教会がこの目標に向かってどう働いたらよいかを次に概観します。

個人的ネットワークの確立

まず、第一に、すべてのメンバーがこの働きの中に組み込まれることが大切です。なぜなら1人ひとりが他者とは違う人間関係のネットワークを持っているからです。1人として、まったく同じ友人たち、家族、隣人たちとかかわりを持っていません。私たちは、違うクラスメイト、違う同僚を持っています。私たちは違うショッピングセンター、銀行、レストランやガソリンスタンドに行き、それぞれの場所で、違う人々と会うのです。そうです。私たち1人ひとりの世界は独特です。ですから私たちはそれぞれの世界で、個人的に人々と接触していかねばなりません。

実際、その人以外にはその世界には近づけないのです。牧師があなたのすべてのネットワークに接触するためには、常にあなたに同行し、あなたが接触をもっている人々と会わなければなりません。そんなことなどだれにも不可能です。全世界に出て行くためには、私たちがそれぞれ自分自身の関係する世界に出て行って、そこの人々と接触しなければなりません。外に方法はないのです。

弟子づくり

教会員を奉仕に動員するための聖書的戦略は、弟子訓練です。弟子訓練とは「命じておいたことをすべて守るように教え」(マタイ28:19)、「すべての人がキリストに結ばれて完全なものとなるように、知恵を尽くしてすべての人を諭し、教え」(コロサイ1:28)です。適切な訓練によって、霊的な幼児は献身した弟子になり、弟子は働き人になっていきます。弟子づくりが失敗する時、サタンは教会員に手かせ、足かせをして、主の奉仕に対して無能力な人にしてしまいます。

弟子づくりは、御言葉に返ることに根ざしています。私たちは「神の変ることのない生きた言葉によって新たに生まれたのです。」「御父は、御心のままに、真理の言葉によってわたしたちを生んでくださいました。それは、わたしたちを、いわば造られたものの初穂となさるためです。」「心に植え付けられた御言葉を受け入れなさい。この御言葉は、あなたがたの魂を救うことができます。」(ペトロ1:1:23、ヤコブ1:18-21)。聖書の言葉が心に根付き、その原則が内面化される時、教会員は、祈りに力強く、聖書の知識に満ち、従順で勤勉、活発に証しする人となります。ついには、とりなし・教え・奉仕・伝道活動に携わるようになります。弟子づくりは不可欠です。それは、すべての教会戦略計画の継続的で、意図的な部分であるべきです。それは、すべての教会指導者の思いの最前部に置かれていなければなりません。弟子づくりは、神の民を奉仕に解放するために欠くことができません。私たちは聖書に立ち返らなければなりません。

伝道

個人的な弟子訓練の技能だけでは、教会を解放するのに十分ではありません。それらが効果ある伝道の技能と結び付けられなければなりません。どのように人をキリストに導くか、周到的な訓練が与えられなければなりません。ペンテコステの初代教会に確立された伝道の原則を、参考にしなければなりません。家における交わりをとおして魂に達する聖書的モデルを教えられなければなりません。どのように共同体をつくり、

霊的成長を培い、魂をかちとるかを学ばなければなりません。今日、新約聖書の成果を取り戻すために、私たちは時間と訓練に努力を捧げなければなりません。

そして教会員は参加するように促されなければなりません。何かなされるべきかという知識だけでは不十分です。その知識が実践されなければなりません。ひとりひとりの教会員は積極的に参加しなければなりません。各自は、ケアグループに属して、自分の人間関係の中で人々に接触する奉仕に献身するのです。生涯の奉仕です。ゴールはもちろん100%の教会員動員です。

解放された教会

あなたの教会から、市内のあちこちにある教会員の家でもたれているケアグループ、そこに友人や隣人、クラスメイトや同僚が招かれ、共に学び、祈り、証している姿を想像してみてください。どのグループにも求道者がいて、彼らは毎週キリストについて学び、毎週小さい決心を重ねていきます。彼らはみな新約時代の共同体、愛の環境の中にいます。そこには主を向かえる期待があり、伝道精神が満ちています。そんなビジョンを抱けますか。

そのようなビジョンと現実の間には乗り越えなければならない大きな壁があります。それぞれがそのビジョンを実現したいと真剣に願っているかどうか、という壁です。まず実際に取り組みをはじめ、最初のケアグループをスタートさせるかどうか、という壁です。すでに学んだように、教会が何をするかではありません。あなたの横に座っている人がどうかではありません。あなたのチームのだれかではありません。問題はあなたが何をするかです。個人的な問題です。最大の必要は働き人です。この大切な働きのために勇気を出して立ち上がりませんか。この働きを成し遂げる決心をしませんか。神様はあなたを、このようなときのために召しておられたのではありませんか。

討論テーマ：

過去数か月を共にして、私たちはあなたを伝道の働きに解放しようと試みてきました。一つだけ質問が残っています。あなたはこれまで学んだことをどうするつもりですか？

チェック表

聖書探究

[] 9課すべての聖書探究を完了していたらチェックする。

具体的助言

[] 9課すべての具体的助言を完了していたらチェックする。

イラストレーション

[] MAP (地図)
 [] 農夫のじょうご
 [] 砂時計
 [] SHIFT (転換)
 [] MOTIVE (動機)
 [] 左手
 [] 右手

暗唱聖句

[] エフェソ3：20、21
 [] マルコ3：14
 [] 使徒言行録2：42
 [] ヨハネ4：35
 [] ヨハネ13：34-35
 [] ルカ24：32
 [] ローマ12：10-11
 [] マタイ9：37-38
 [] イザヤ6：8

おめでとうございます。あなたは育成コースをついに終了しました。あなたの努力を、神様は豊かに祝福されたと信じます。これからもキリストに仕える決心を実践されますようお祈りしています。このプログラムはあなたにとって祝福となったでしょうか。ご感想をお寄せください。ありがとうございました。

いきいき弟子講座 育成コース（全9課）

イラストレーション



この小冊子に掲載されているイラストレーションは、「チーム戦術」講座の重要な一部分になっています。というのも、これらのイラストレーションは、記憶に残りやすく、かつ他の人に教えやすい形で、本プログラムの最も重要な原則をあらわしているからです。また、有用な奉仕の生活を送るための深い洞察も含んでいます。あなたがこれらのイラストレーションを心にしっかり留め、その意味を熟考すればするほど、ますます大きな影響があなたの伝道の働きにもたらされることでしょう。

通常、これらのイラストレーションは、定例ミーティングの中でチームリーダーによって（注釈なしで）説明され、メンバーは各自の訓練用小冊子に書き写します。この小冊子は、最後のイラストレーションが（7週目に）説明されたあとに配布されます。メンバーが最終講座に向けて復習するのを助けるためです。

これらのイラストレーションを学んでいく際、あなたが属するチーム以外のだれかに、イラストレーションのことを教える機会を与えてください、と神に求めましょう。あなたがイラストレーションについて教えることで、その友人が「チーム戦術（育成コース）」講座を受講したいと思うようになるかもしれません。あなたが神様のために奉仕しようとするとき、豊かな祝福が与えられますように。

イラストレーション1 — 「MAP（地図）」

Memorize 暗記する
Apply 適用する
Pass On 伝える

「MAP（地図）」は、神が全ての信者のために計画されている成長の道をあらわします。次のような3つの基本的段階があります。

M 霊的「乳飲み子」（ペトロ1・2：2）は、どのように神の御言葉を取り入れるかを学ぶ必要があります。聖書を吸収するための最も有効な方法は、**暗記する（Memorize）**ことです。多くの聖句が、聖書を受け入れることと、それを心に蓄えることとを、結びつけています。箴言2：1、ヨブ22：22。

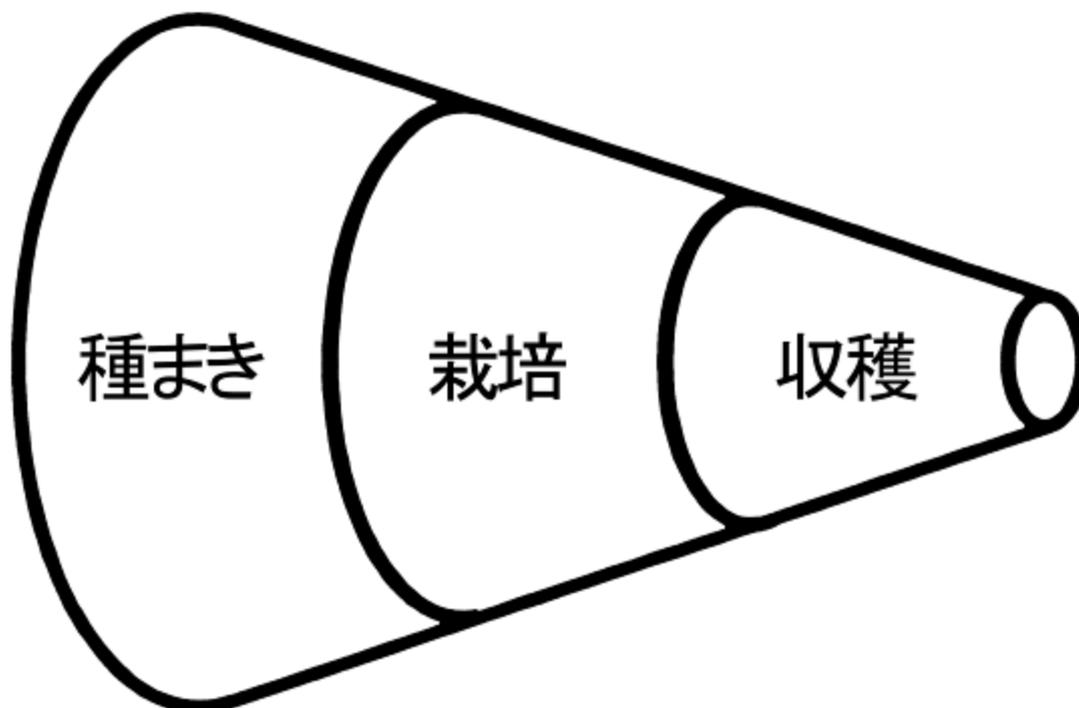
A 弟子とは、聖書の原則を実践することを学ぶ人々です。鍵は、誠実に**適用する（Apply）**ことです。心に神の御言葉を持っていることは、服従のための重要な鍵でもあります。詩編119：11、詩編40：9。

P 神の究極の御計画は、1人ひとりが学んだことを分かち合う働き人になることです。伝道は、信者が自分の信仰を人に**渡す（Pass On）**ときに起こります。吸収されて自分のものになった御言葉が、この段階でもまた重要です。テモテ2・2：15、ヨハネ3：34。

あなたのあらゆる可能性を引き出し、あなたの人生の目的を達成するために、上記の霊的成熟へ至る「MAP（地図）」に従ってください。



イラストレーション2 — 「農夫のじょうご」



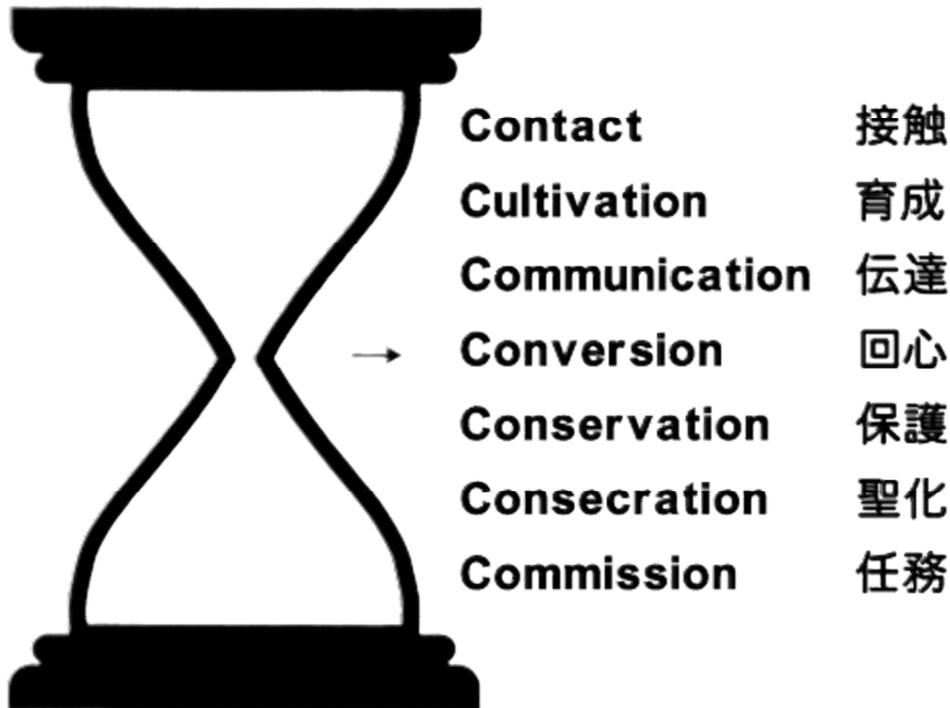
「農夫のじょうご」は、伝道に3つの側面（種まき、栽培、収穫）があることを思い出させます。

種まき： 種まきには、いろいろな教会活動や近隣住民への接触を目的とした行事（戸ごと調査、文書配布、セミナー、音楽コンサート、料理教室、地域奉仕活動など）が含まれます。

収穫： 収穫には、聖書の真理を組織的に伝え、キリストを受け入れる（バプテスマを受けて教会員になる）決心へと導くために企図された活動が含まれます。典型的なものは、個人的な聖書研究、伝道講演会などです。

栽培： しかし、種まきと収穫との間には、長期間にわたるたいへんな栽培の作業があります。それは、最初の接触から最後の決断（献身）に至るまでの橋渡しで、支援的コミュニティの中での養育的關係を通じてなされるものです。霊的成長を培うこの過程が、教会ではしばしばおろそかにされています。ケアグループが役に立ちます。

イラストレーション3 — 「砂時計」



「砂時計」は、執り成しの祈りにおいてあなたを導いてくれる道具です。人はいろいろな段階を通過していきますが、このことを理解すると、あなたの祈りの相手（対象者）が次の段階に進めるよう、より具体的に祈ることができます。これらの段階には、次のようなものがあります。

- | | | |
|---------------------|-------------|--|
| Contact | 接触 : | 神があなたに証しさせたいと思っておられる人と接触できるように祈ります。 |
| Cultivate | 育成 : | 知り合いの人との関係をさりげなく育成できるように神の助けを祈ります。 |
| Communicate | 伝達 : | あなたの信仰を伝えるための特別な機会を祈ります。 |
| Conversion | 回心 : | あなたが接触を持ち、信仰の話をしている人の回心を祈ります。 |
| Conservation | 保護 : | 最近、キリストを受け入れる決心をした人や、霊的にもがいている人の保護を祈ります。 |
| Consecration | 聖化 : | 教会員となった人の、さらなる聖化を祈ります。 |
| Commission | 任務 : | 最終段階として、福音を各自の世界に届けるというキリストの任務を、ひとりひとりが個人的に受け入れられるように祈ります。 |

イラストレーション4 — 「SHIFT (転換)」

School / Salary 学校 / 給料

Home / History 家庭 / 経歴

Interest 興味

Faith 信仰

Testimony 証

「SHIFT (転換)」を使って、会話をもっと霊的な話題に「転換 (shift)」してください。一連の適切な質問と明るい笑顔で武装すれば、あなたはたいいていの人と会話をし、キリストについて話すことができます。

- S** 学校 / 給料 : 相手が学生なら、授業について、また卒業後にどんなことをしたいか、尋ねてください。相手がもっと年配なら、仕事について、どのようにしてその分野の仕事に就いたのか、尋ねてみましょう。
- H** 家庭 / 経歴 : 次に、その人の背景を少し尋ねてください。家族構成は？ 生まれ育った場所は？
そこに住んでいた期間は？
- I** 興味 : その人の興味や関心事を尋ねてください。余暇に何をするか？ どんなもの(こと)を大切にしているか？ その理由は？
- F** 信仰 : 次に、その人が語った興味や関心事(信仰に結びつけることができるもの)について、質問をしてみてください。美、正義、苦悩の問題、人生の意味……などについて。その興味や関心事を深い価値と結びつけることで、霊的な関心を引き起こせるかもしれません。
- T** 証 : 最後に、話題にしたその分野において、神がどのようにあなたの思いに影響を及ぼされたか、証してください。そして、会話がどのように展開するか、様子を見守りましょう。

イラストレーション5 — 「MOTIVE (動機)」

「MOTIVE (動機)」は、あらゆる伝道の背後で、私たちが「駆り立てている力」が「キリストの愛」でなければならないことを思い出させてくれます。コリント2・5：14。また、「MOTIVE (動機)」は、愛を行動に変える6つの鍵を明らかにしています。

MOTIVE

- | | | |
|----------|------------------------------|---|
| M | 便り :
Mail | 休暇で出かけたら、絵葉書を送ってください。誕生日や記念日、季節の折々に、あるいは、お悔やみや感謝のしるしとしてカードを送りましょう！ |
| O | 外出 :
Outings | ピクニック、ハイキング、キャンプなどのために外出してください。近隣地域の行事に出かけたり、教会の社交プログラムと一緒に楽しんだり、地元の動物園へ行ったりするのもいいでしょう。グループで何かをするのです。 |
| T | 電話 :
Telephone | 電話をかけて様子（近況）を尋ねたり、短いお祈りを一緒にささげたりしてください。聖句のメッセージを伝えることを身につけましょう。 |
| I | インターネット :
Internet | 折に触れ、有意義なメールを送ってください。ソーシャル・ネットワーク・サイトに慣れて、これを利用しましょう。 |
| V | 訪問 :
Visits | さまざまな人をあなたの家に招いて食事をしたり、こちらから相手の家を訪問したりしてください。引越などを手伝ってあげましょう |
| E | 伝道 :
Evangelism | 新しい人々に会うために企図された伝道活動で、一緒に働いてください。教会が企画した行事に参加したり、あなたのグループで伝道活動を計画したりしましょう。 |

注：上記の方法のすべてが、あらゆる相手に有効というわけではありません。しかし、私たちの接触方法が多様であればあるほど、相手の人はより強く「自分は愛されている」と感じるものです。心からの気遣いには、行動が伴います。

イラストレーション6 — 「左手」



「左手」は、神のみ言葉を私たちの心と生活に取り込むための、聖書的5つの方法をあらわしています。それぞれの指は、あなたの生活の中で活躍していますか？ もし活躍していないなら、どれを一番強化しなければなりませんか？

以下の5行は、上記の5本の指を忘れないために、やさしく言い換えたものです。

H	聞く： Hear	教えをよく聞く
E	試す： Examine	自分自身で読む
A	調べる： Analyze	注意深く勉強する
R	覚える： Remember	頻繁に暗記する
T	考える： Think	生活に適用する

聖書をつかむ指の本数が多ければ多いほど、よりしっかりつかめるものです。特に大切なのは、親指——親指は他の指と一緒に使わなければなりません。つまり、どのように御言葉を取り込もうとも、必ずそれを適用に結びつけてください。

イラストレーション7 「右手」



「右手」は、有用なケアグループをつくるうえで、最も重要な鍵をあらわしています。それぞれの指の重要性を「明快 (clear)」に把握することが、最高の成功を収める助けになります。

- | | | |
|----------|----------------------------------|--|
| C | 交わり (共同体) :
Community | ちょうど4本の指すべてで親指を包み込むことができるように、ケアグループも、やって来る1人ひとりを包んであげなければなりません。 |
| L | リーダーシップ :
Leadership | 強いリーダーは道を指し示します。リーダーは伝道についての聖書の原則に忠実に従ってください。 |
| E | 伝道 :
Evangelism | 求道者を見つけ、キリストを伝えることに、グループの焦点を合わせ続けてください。各メンバーが毎週1人の友人を誘うために何かをしましょう。求道者がいないところに、ケアグループもありません。 |
| A | 責任 :
Accountability | 中核的メンバーが、休まずに出席することが重要です。献身と忠誠の大切さを強調してください。 |
| R | 再生産 :
Reproduction | 最終ゴールは、グループが2つになることです。各メンバーを将来のリーダーの卵として見るようにしてください。 |